

大阪府委託事業

令和4年度 健康格差の解決プログラム促進事業（特定保健指導）

大阪府の被用者保険（被扶養者）における
特定保健指導についてのアンケート結果

京都大学

目次

1. 背景と目的	3
2. アンケート集計結果		
アンケート実施方法	4
アンケートの概要	5
基本属性：年齢	6
性別	7
健康への関心と知識：健康意識	8
メタボに関する知識	9
特定保健指導：利用有無	10
認識	11
希望するサービス	12
希望する利用方法	13
3. 要点	14
4. 提案	15~16
5. 補足資料	17~26

1. 背景と目的

- 大阪府は全国に比べ健康指標が低位であり、特に特定健診受診率（51・3%、34位/令和元年）と特定保健指導実施率（19・9%、43位/令和元年）が低位である。
- 保険者別にみますと、被用者保険の被扶養者の特定保健指導実施率（9.8～13.9%）の低さは、職域保険者の共通課題としてあげられる。
- そこで、特定保健指導となった被扶養者に対するアンケート調査をもとに、特定保健指導の実施状況と対象者背景を解析し、特定保健指導の利用率の障壁を把握する。さらに、今後の特定保健指導の実施率向上に向けての介入・対策を検討する。

特定保健指導の保険者種類別の実施率

※（ ）内は、2019年度特定保健指導対象者数

	総数 (520万人)	市町村国保 (81万人)	国保組合 (14万人)	全国健康保険協会 (191万人)	船員保険 (0.9万人)	健保組合 (183万人)	共済組合 (50万人)
2019年度	23.2%	29.3%	10.1%	15.6%	10.3%	27.4%	30.7%

特定保健指導（被保険者・被扶養者別）の実施率

	全国健康保険協会			健保組合			共済組合		
	被保険者	被扶養者	加入者全体	被保険者	被扶養者	加入者全体	被保険者	被扶養者	加入者全体
2019年度	15.9%	9.8%	15.6%	28.6%	13.9%	27.4%	32.1%	10.4%	30.7%

出典：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況（都道府県別一覧）」、「2019年特定健診・特定保健指導の実施状況(保険者別推移)」

2. アンケート集計結果

アンケート実施方法

対象

- 2021年度特定保健指導対象となった被用者保険の被扶養者計5,943名

実施方法

- 郵送による案内にて、QRコードからWebアンケートへの回答を依頼
- 期間：2022年7月7日案内発送、7月31日回答期限（2022年8月15時点での回答を含む）

回答数・回答率

- 回答数 1,692例（回答率 28.5%）

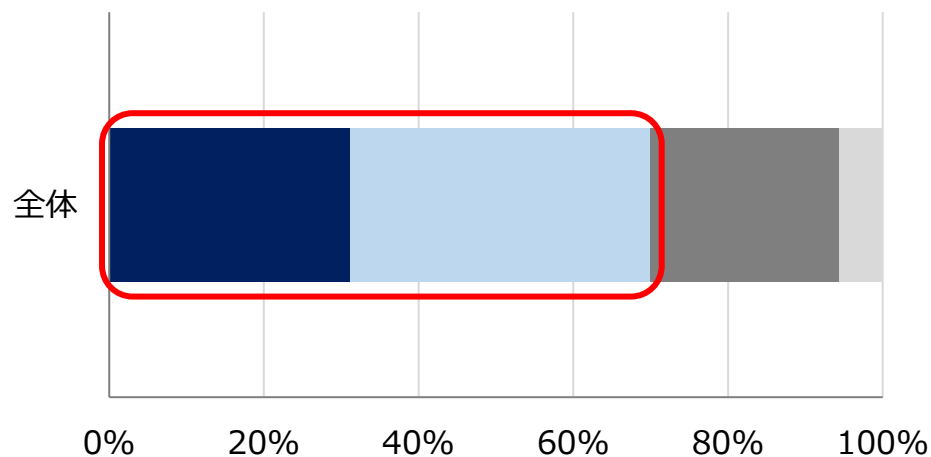
アンケート概要

設問の概要	設問	設問項目
年齢	Q2	年齢を教えてください
性別	Q3	性別を教えてください
居住地	Q4	居住地を教えてください
家族	Q5, 6	子の有無、預け先
仕事	Q7	仕事の状況
健康意識	Q9	かかりつけ医の有無
	Q10	健康意識
	Q13	メタボに関する知識
特定保健指導に関する設問	Q1	利用有無
	Q8	職場のサポート
	Q11	周知の利用有無
	Q12	知識
	Q14, 15	希望するサービス、方法
	Q16	自己負担額
	Q17	指導場所

特定保健指導対象者は、40, 50代で7割を占めている

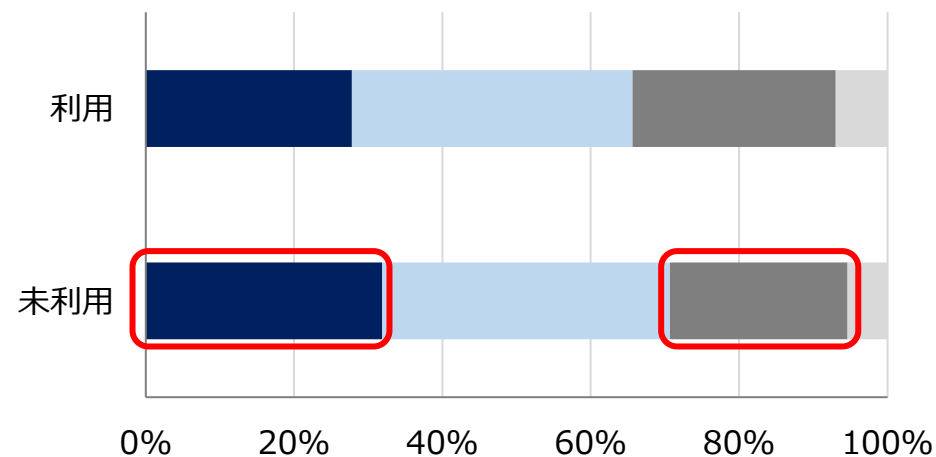
- 「Q2 あなたの年齢を教えてください」の回答をみると、40代と50代で7割を占めていました。（グラフ左）
- 未利用者は利用者に比べ40代の割合がやや高く、60代の割合がやや低いことがわかりました。（グラフ右）

<全体> ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代



40代		50代		60代		70代		合計	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
529	31.3%	654	38.7%	414	24.5%	95	5.6%	1,692	100.0%

<特定保健指導利用別> ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

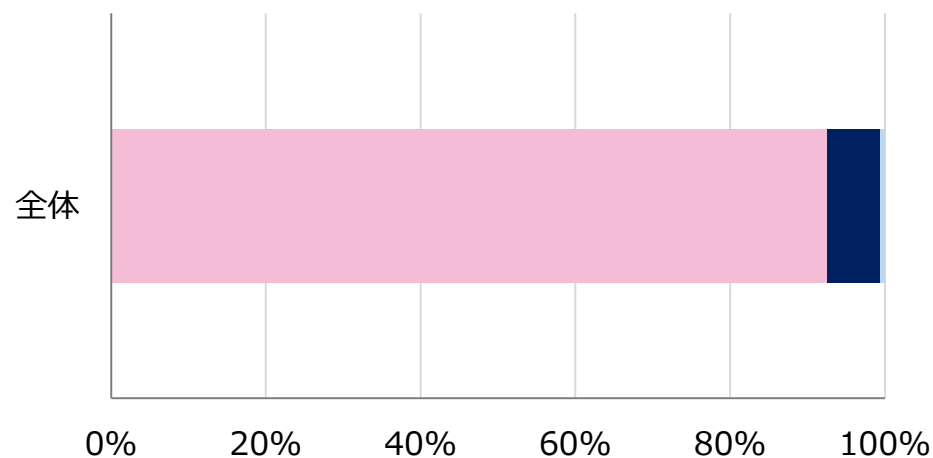


特定保健指導	40代		50代		60代		70代		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	72	27.8%	98	37.8%	71	27.4%	18	6.9%	259	100.0%
未利用	457	31.9%	556	38.8%	343	23.9%	77	5.4%	1,433	100.0%

アンケート対象者である被扶養者は、女性が9割以上を占めている

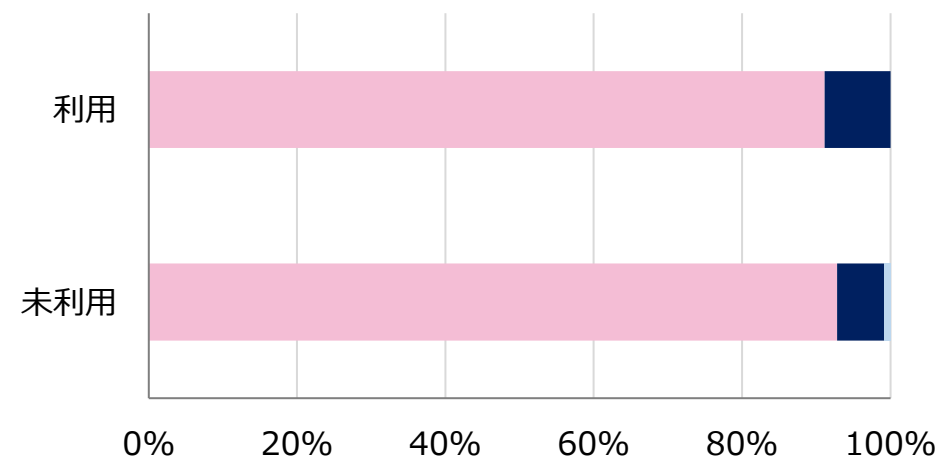
- 「Q3 あなたの性別を教えてください」の回答をみると、女性が9割以上を占めていました。（グラフ左）
- 利用者と未利用者を比較すると、性別ごとの割合の差はほとんど見られませんでした。（グラフ右）

<全体> ■ 女性 ■ 男性 ■ その他 ■ 回答しない



女性		男性		回答しない		その他		合計	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1,566	92.4%	115	6.8%	10	0.6%	1	0.06%	1,692	100.0%

<特定保健指導利用別> ■ 女性 ■ 男性 ■ その他 ■ 回答しない



特定保健指導	女性		男性		回答しない		その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	236	91.1%	23	8.9%	0	0.0%	0	0.0%	259	100.0%
未利用	1,330	92.9%	92	6.4%	10	0.7%	1	0.07%	1,433	100.0%

特定保健指導の未利用者は利用者に比べ、 メタボや健康意識について「全く考えない」と答えた人の割合が高い

- 「Q10 普段からメタボと将来の健康問題について考えることがありますか？」の回答をみると、未利用者は利用者に比べ、「全く考えない」と答えた人の割合が高くなっていました。

特定保健指導	常に考えている		時々考える		全く考えない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	75	30.1%	169	67.9%	5	2.0%	249	100.0%
未利用	350	25.0%	991	70.7%	61	4.4%	1,402	100.0%

特定保健指導対象者の半数はメタボに関する知識が不足している

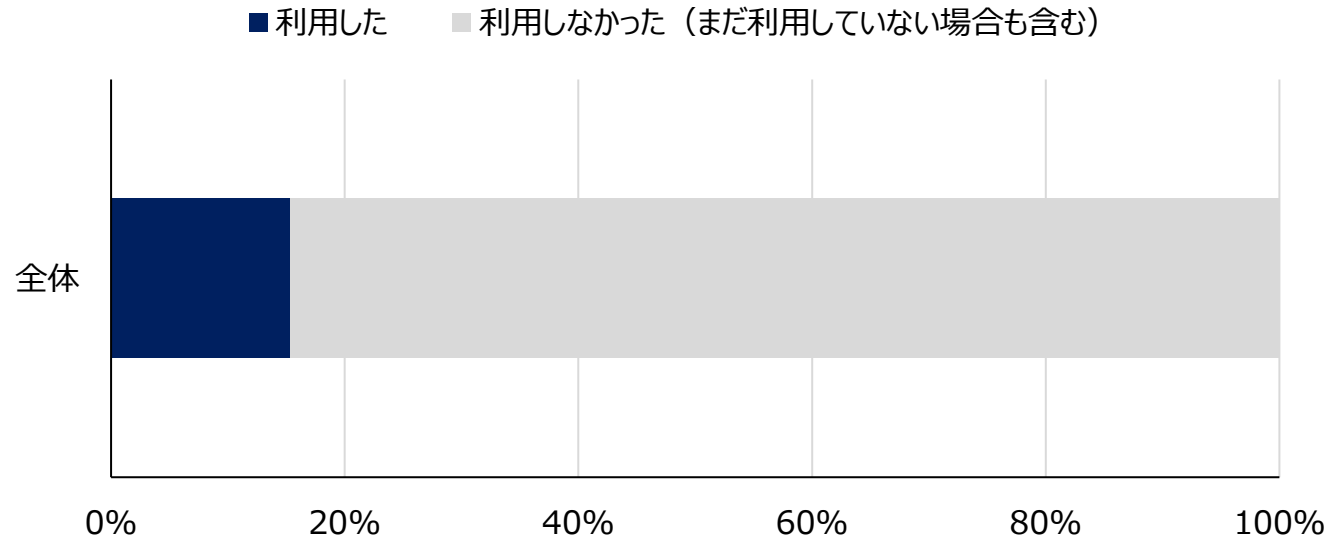
- 「Q13 メタボについて正しいと思うもの全てにチェックをつけて下さい」の正答率をみると、「体重と腹囲だけで診断される」と「遺伝と環境の影響はどちらもあると言われている」については、半数前後の人が不正解であり、正しい知識を身につけていないことが示唆されました。

＜正解者の人数と割合＞ *複数回答可

特定保健指導	体重と腹囲だけで診断される		脳梗塞、心筋梗塞などの心血管疾患に将来なりやすい		体調に異常を感じてから薬で治せば良い		一度薬を飲んだらずっと続けないといけない		遺伝と環境の影響はどちらもあると言われている	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	145	56.0%	205	79.2%	251	96.9%	227	87.6%	126	48.1%
未利用	857	59.8%	1176	82.1%	1398	97.6%	1248	87.1%	690	48.2%

特定保健指導の対象になっても8割以上の方は利用していない

- 「Q1 2021年度の特定健診（メタボ健診）の結果、案内があった特定保健指導を利用されましたか？」の回答を見ると、約85%が利用していませんでした。



特定保健指導	回答数	割合
利用	259	15.3%
未利用	1,433	84.7%
合計	1662	100.0%

特定保健指導の未利用者は特定保健指導の申し込み方法だけでなく、指導内容や方法についても知らない人の割合が高い

- 「Q12 特定保健指導に関する以下の項目について知っていますか？」の回答をみると、未利用者では「全く知らない、わからない」と答えた人の割合が利用者に比べて高くなっていました。

特定保健指導	選択肢	申し込み方法		どんな内容を指導されるか		どんな方法で指導を受けるか	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	全く知らない、わからない	75	30.1%	68	27.3%	79	31.7%
	少し（なんとなく）知っている	131	52.6%	134	53.8%	131	52.6%
	全部知っている、理解している	43	17.3%	47	18.9%	39	15.7%
未利用	全く知らない、わからない	615	43.9%	686	48.9%	786	56.0%
	少し（なんとなく）知っている	631	45.0%	591	42.1%	508	36.2%
	全部知っている、理解している	156	11.1%	125	8.9%	108	7.7%

特定保健指導の未利用者は直接的なベネフィットだけでなく、 情報提供も希望している

- 「Q14 どんなサービスがあれば、あなたが特定保健指導をもっと利用しやすいと思いますか？」の回答をみると、未利用者は医師の診察やフィットネスクラブの会員権といった直接的なベネフィットだけでなく、「健康の自己管理に役立つアプリやサービスの案内」や「特定保健指導をもっと知るための情報提供」等の情報提供についても希望している人の割合が高くなっていました。

*複数回答可

特定保健指導	利用時にお子さんの一時預かり		保健指導の際に、医師の診察も受けられる		健康の自己管理に役立つアプリやサービスの案内		特定保健指導をもっと知るための情報提供		フィットネスクラブの会員権（1年分）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	9	3.6%	102	41.0%	108	43.4%	74	29.7%	121	48.6%
未利用	92	6.6%	488	34.8%	646	46.1%	471	33.6%	653	46.6%

特定保健指導の未利用者においても対面指導を希望する割合は高い

- 「Q15 どのような方法であれば特定保健指導を利用したいですか」の回答をみると、未利用者においても対面指導を希望する割合は高く、専門家への信頼の高さが感じられます。
- また、未利用者においても対面とメールの割合が高く、意欲がある方と自分のペースで行いたい方に二極化していると考えられます。

*複数回答可

特定保健指導	対面		ビデオ通話		チャット		メール	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	135	54.2%	28	11.2%	33	13.3%	98	39.6%
未利用	645	46.0%	151	10.8%	215	15.3%	611	43.6%

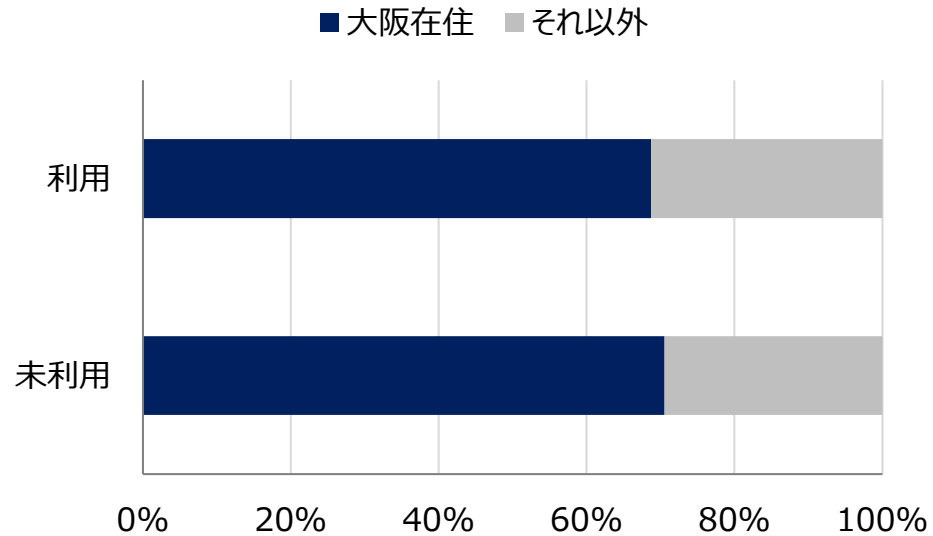
3. 要点

- 特定保健指導対象者は、40, 50代で7割を占めている
- アンケート対象者である被扶養者は、女性が9割以上を占めている
- 特定保健指導の未利用者は利用者に比べ、メタボや健康意識について「全く考えない」と答えた人の割合が高い
- 特定保健指導対象者の半数はメタボに関する知識が不足している
- 特定保健指導の対象になっても8割以上の人は利用していない
- 特定保健指導の未利用者は特定保健指導の申し込み方法だけでなく、指導内容や方法についても知らない人の割合が高い
- 特定保健指導の未利用者は直接的なベネフィットだけでなく、情報提供も希望している
- 特定保健指導の未利用者においても対面指導を希望する割合は高い

4. 補足資料

補足資料

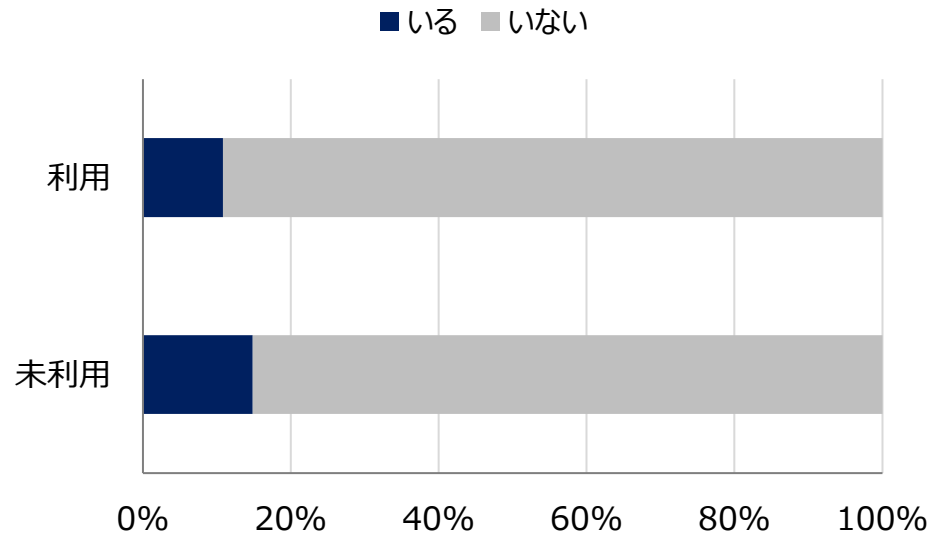
- 「Q4 あなたのお住まいを教えてください」の回答をみると、利用者も未利用者も大阪府在住が約7割を占めています。



特定保健指導	大阪在住		それ以外		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	178	68.7%	81	31.3%	259	100.0%
未利用	1,011	70.6%	422	29.4%	1433	100.0%

補足資料

- 「Q5 ご家庭にひとりで留守番の難しいお子さんがいらっしゃいますか？」の回答をみると、未利用者は利用者に比べ、「いる」と答えた人の割合が高くなっていました。



特定保健指導	いる		いない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用者	28	10.8%	231	89.2%	259	100.0%
未利用者	213	14.9%	1,220	85.1%	1,433	100.0%

補足資料

- 「Q6 Q5で「いる」と回答した方にお聞きします。健診や保健指導、病院受診などの時に、お子さんを誰か、またはどこかに預けやすいと感じていますか」の回答をみると、未利用者は利用者に比べ、預けにくいと感じている人の割合が高くなっていました。

特定保健指導	預けやすい		やや預けやすい		どちらともいえない		やや預けにくい		預けるのは難しい		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	8	27.6%	4	13.8%	5	17.4%	6	20.7%	6	20.7%	29	100.0%
未利用	27	12.8%	38	18.0%	53	25.1%	40	19.0%	53	25.1%	211	100.0%

補足資料

- 「Q7 最近 1 年間のお仕事の状況について教えてください」の回答をみると、利用者・未利用者ともに常勤として働いている方は少ないことがわかりました。

特定保健指導	主に常勤		主にパート等		未就労		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	11	4.3%	129	50.0%	118	45.7%	258	100.0%
未利用	89	6.2%	742	52.0%	597	41.8%	1,428	100.0%

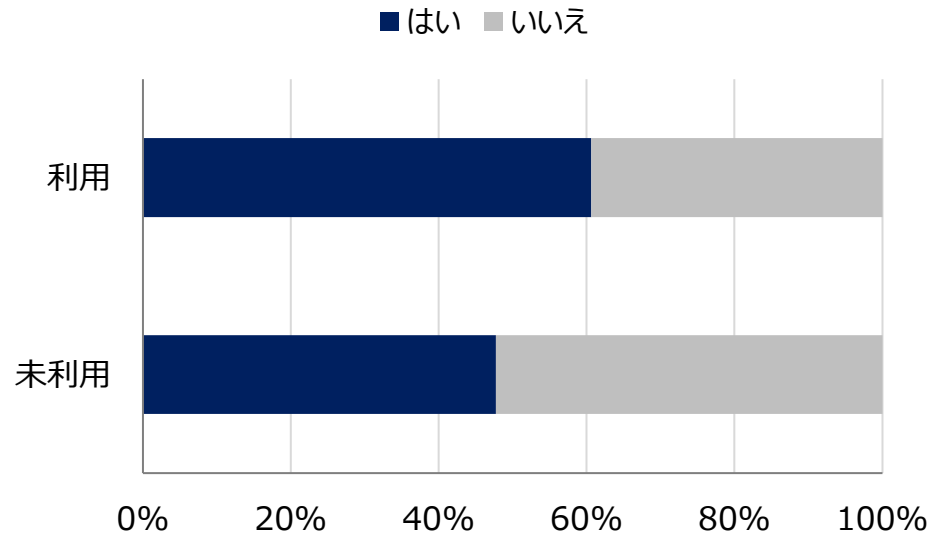
補足資料

- 「Q8 特定保健指導を受けるために勤務先のサポートは十分だと思いますか？直感的な印象でお答えください」の回答をみると、未利用者は利用者に比べ、「とてもそう思う・そう思う」と答えた人の割合が低くなっていました。

特定保健指導	とてもそう思う		そう思う		どちらともいえない		あまりそう思わない		全くそう思わない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	14	10.3%	41	30.1%	45	33.1%	14	10.3%	22	16.2%	136	100.0%
未利用	48	5.9%	160	19.5%	376	45.9%	121	14.8%	115	14.0%	820	100.0%

補足資料

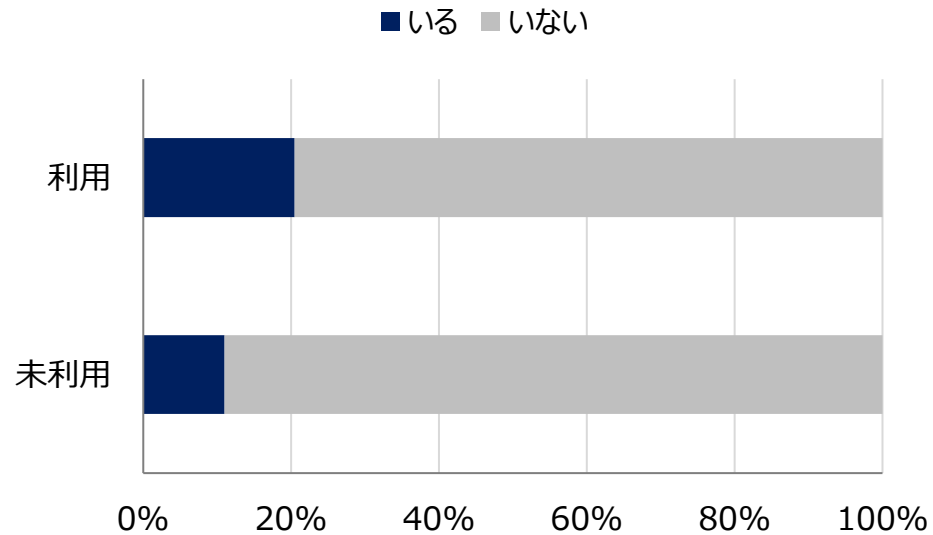
- 「Q9 健康診断で健康の問題を指摘された時に、気軽に相談できる病院やクリニックはありますか？」の回答をみると、未利用者は利用者 비해、「いいえ」と答えた人の割合が高くなっていました。



特定保健指導	はい		いいえ		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用者	151	60.6%	98	39.4%	249	100.0%
未利用者	669	47.7%	733	52.3%	1,402	100.0%

補足資料

- 「Q11 あなたの周囲に特定保健指導を利用した人がいますか？」の回答をみると、未利用者は利用者 비해、「いる」と答えた人の割合が低くなっていました。



特定保健指導	いる		いない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用者	51	20.5%	198	79.5%	249	100.0%
未利用者	1,248	11.0%	154	89.0%	1,402	100.0%

補足資料

- 「Q16 あなたが特定保健指導を利用する際、自己負担額がいくらまでなら利用したいですか？あなたの考えに最も近いものを選んでください」の回答をみると、特定保健指導対象者は0円と1,000円で約7割を占めていました。

特定保健指導	0円		1,000円		2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	90	38.6%	64	27.5%	41	17.6%	33	14.2%	1	0.4%	4	1.7%	233	100.0%
未利用	544	40.6%	440	32.8%	192	14.3%	140	10.4%	0	0.0%	24	1.8%	1,340	100.0%

補足資料

- 「Q17 あなたが特定保健指導を利用する際、指導を受ける場所がどのくらい近くなら利用したいですか」の回答をみると、未利用者は利用者よりも自宅（オンライン）か健診と同時を選択した人の割合が高くなっていました。

特定保健指導	自宅（オンライン）か 健診と同時		片道15分以内		片道30分以内		それ以上でも 利用を検討する		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用	72	30.9%	113	48.5%	39	16.7%	9	3.9%	233	100.0%
未利用	488	36.4%	631	47.1%	166	12.4%	55	4.1%	1,340	100.0%

設問一覧

設問番号	設問文
Q1	2021年度の特定健診（メタボ健診）の結果、案内があった特定保健指導を利用されましたか？
Q2	あなたの年齢を教えてください
Q3	あなたの性別を教えてください
Q4	あなたのお住まいを教えてください
Q5	ご家庭にひとりで留守番の難しいお子さんがいらっしゃいますか？
Q6	Q5で「いる」と回答した方にお聞きします。健診や保健指導、病院受診などの時に、お子さんを誰か、またはどこかに預けやすいと感じていますか？
Q7	最近1年間のお仕事の状況について教えてください
Q8	特定保健指導を受けるために勤務先のサポートは十分だと思いますか？直感的な印象でお答えください
Q9	健康診断で健康の問題を指摘された時に、気軽に相談できる病院やクリニックはありますか？
Q10	普段からメタボを将来の健康問題について考えることがありますか？
Q11	あなたの周囲に特定保健指導を利用した人がいますか？
Q12	特定保健指導に関する以下の項目について知っていますか？
Q13	メタボについて正しいと思うもの全てにチェックをつけて下さい
Q14	どんなサービスがあれば、あなたが特定保健指導をもっと利用しやすいと思いますか？（当てはまるものすべてにチェックしてください）
Q15	どのような方法であれば特定保健指導を利用したいですか？（当てはまるものすべてにチェックしてください）
Q16	あなたが特定保健指導を利用する際、自己負担がいくらまでなら利用したいですか？あなたの考えに最も近いものを選んでください
Q17	あなたが特定保健指導を利用する際、指導を受ける場所がどのくらい近くなら利用したいですか？

令和4年度 大阪府健康格差の解決プログラム促進事業（特定保健指導）

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課

京都大学医学研究科人間健康科学系専攻福間研究室

福間真悟、森雄一郎、小林亜理沙